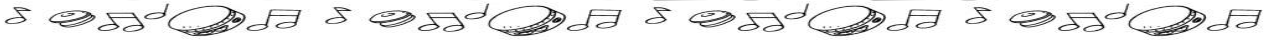
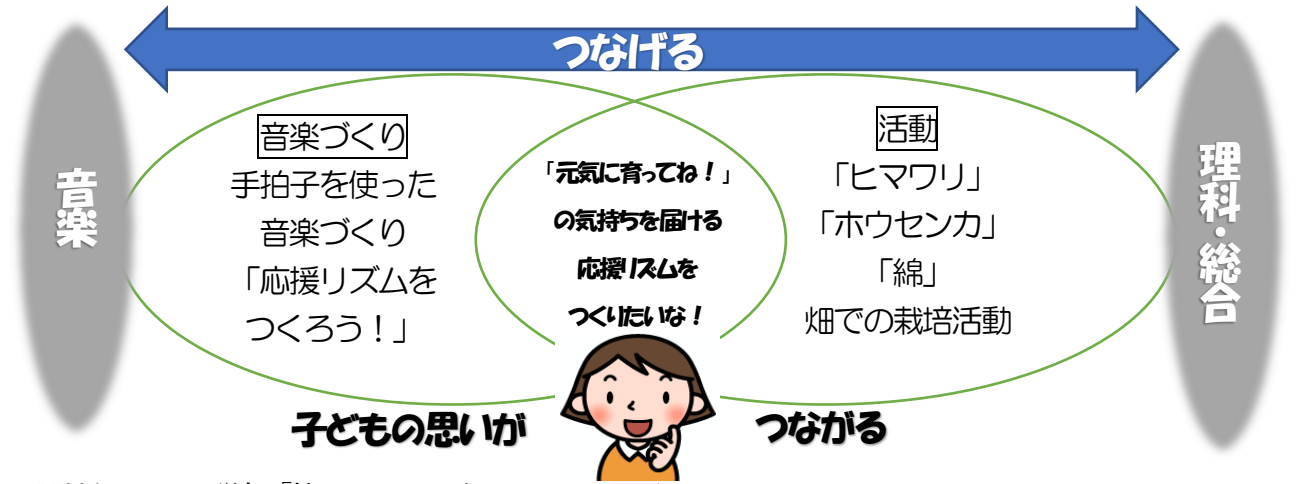


つなげる→つながる音楽～音楽づくり～



亀田小学校 山田やしほ

音楽を他教科や違う題材とつなげることにより、「音楽」→「子どもの思い」がつながり、より学びを深めることができます。今回は、音楽づくりの活動を他教科とつなげた実践例を紹介します。



- 1 題材名 3学年「拍にのってリズムをかんじとろう」
- 2 学習内容 拍にのってリズムの特徴が生み出すよさを感じ取り、「反復」「変化」を生かしてまとまりのあるリズムをつくる。 (全3時間)

3 題材の流れ

<1時間目>4分の2拍子を感じながら音楽の仕組みを学ぶ。

- (1) 「ゆかいな木きん」を歌ったり手拍子をしたりして楽曲に親しむ。
- (2) 「反復」に着目し,ある場合とない場合を試しそのよさを実感する。

<2時間目>手拍子で応援リズムをつくる。

- (1) 「ヒマワリ」「ホウセンカ」「綿」にどんな気持ちを届けたいかを話し合う。
→「元気に育ってね!の気持ちを届けたいな」
- (2) 応援リズム A B を比較して,「どちらが元気を届けるリズムか」「なぜそう感じるか」を話し合う。
→「Bがいい。Aはリズムが同じだけど,Bは2回繰り返した後にリズムが変わるから」
- (3) 「2回繰り返し」→「リズムを変える」形を使って,自分の応援リズムをつくる。
- (4) みんなでリズムを聴き合ったりよさを考えたりして,自分の応援リズムを完成させる。

→「Aさんのリズム が元気な感じだから, 3小節目からそのリズムを入れてみよう」

私がつくった応援リズムの気に入っているところは,前半に のリズムを繰り返して後半に のリズムも入れたところ
です。元気が伝わる応援リズムになりました。

<3時間目>グループでつなげ方や重ね方を考えて, 応援リズムを完成させる。

4 評価

- 知・技 拍にのって表現する技能や「反復」「変化」を用いてまとまりのあるリズムをつくっている。
- 思・判・表 「反復」「変化」を生かしたまとまりのあるリズムが生み出すよさを感じ取りながら, それらを生かし自分の応援リズムを工夫している。
- 態 拍子やリズム, 「反復」「変化」の音楽の仕組みに気付き, 楽曲を聴く学習に進んで取り組んでいる。